

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月12日

上場会社名 ワイエスフード株式会社

上場取引所 東

コード番号 3358 URL <http://www.vs-food.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 緒方 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岩下 征吾

TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,546	△8.2	73	675.8	69	2,291.7	40	—
25年3月期第3四半期	1,683	△24.0	9	△63.8	2	△82.8	△48	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 38百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	11.15	—
25年3月期第3四半期	△12.94	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,095	1,981	48.4
25年3月期	3,933	1,948	49.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,981百万円 25年3月期 1,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期末につきましては、今後の経営環境が不透明であることから、現時点では未定としております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,927	△12.5	54	282.1	44	480.6	38	—	10.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年9月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式341株の取得を行いました。また、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。つきましては、平成25年5月14日に公表しております平成26年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該自己株式の取得及び株式分割を考慮した額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	3,873,000 株	25年3月期	3,873,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	287,300 株	25年3月期	253,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	3,607,028 株	25年3月期3Q	3,733,000 株

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想について

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 株式分割について

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行い、単元株式数を100株といたしました。これに伴う平成26年3月期の配当予想及び連結業績予想につきましては、当該項目を参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府による経済・金融緩和政策等による景気回復基調が見られ、企業収益や個人消費に改善が見られるものの、消費税率の引き上げ決定による消費低迷の懸念等、先行きは依然として不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、一部では個人消費の回復の動きが見られるものの、原材料価格の高騰や企業間における競争激化等、厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは「一杯のラーメンをお客様に満足していただく」という創業当時の理念にのっとり、「美味しさと快適な食の空間」の追求はもちろん、お客様満足度向上のための重要な要素である店舗のQSC（Q＝クオリティ・S＝サービス・C＝クリンリネス）の徹底を積極的に取り組むことで、お客様一人一人に誠実であり続けることに、より一層推進してまいりました。

さらに、過年度より実施しております国内における経営戦略としての「社員独立制度」による企業体質の強化への取り組み、また、店舗売上高の増加の取り組みとして、全国誌を媒体としたキャンペーンを積極的に実施することでブランディング及び集客力の向上を図っており、海外事業におきましても、店舗数が純増していることに伴い、食材出荷量も計画を上回る結果となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は直営店舗のFC化による影響で1,546百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。しかしながら、利益面では、計画通りの固定費を圧縮できたことにより、営業利益において前年同四半期に比べ64百万円増益の73百万円となりました。

経常利益につきましても、前年同四半期に比べ66百万円増益の69百万円となり、当四半期純利益は、法人税等26百万円の影響により、四半期純利益40百万円（前年同四半期は四半期純損失48百万円）と88百万円の増益となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(外食事業)

当第3四半期連結累計期間における外食事業におきましては、お客様満足度の向上を第一にQSCの徹底を積極的に取り組み、「餃子190円キャンペーン」及び「全国誌を媒体とした販促キャンペーン」をはじめとする各種セールを実施することで「山小屋」、「ばさらか」のブランディングを向上させ、さらに、地域限定メニュー等を導入したことにより、来店客数の増加に努めてまいりました。

さらに、海外事業の活動内容としましては、海外においてのラーメン事業に対する評価が高く、多店舗展開も進んでいることに伴い、食材出荷量におきましても計画を上回る結果となりました。

また、当第3四半期会計期間において海外での出店が5店舗（インドネシア3店舗、フィリピン1店舗、マカオ1店舗）あり、今後も海外での店舗展開を進め、食材出荷量の増加及び新ブランドの設立並びに食材卸事業等による新たな収益源の確保に注力してまいります。

また、利益面の改善におきましては、過年度から実施しておりました「直営店舗のFC化」及び「不採算店舗の閉店」による固定費の圧縮効果が著しく表れ、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,410百万円と前年同四半期に比べ9.3%減少したものの、営業利益につきましては、前年同四半期に比べ56百万円増益の、109百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間の店舗状況は、新規出店が14店舗（FC店5店舗、海外9店舗）、契約満了を含む店舗の閉鎖が10店舗（FC店9店舗、海外1店舗）、直営店からFC店へ変更した店舗が1店舗あったことから、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、前連結会計年度末に比べ4店舗増加して159店舗（直営店12店舗、FC店113店舗、海外34店舗）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は41百万円（同0.2%減）、営業利益20百万円（同8.1%増）となりました。

(外販事業)

連結子会社大幸食品㈱が、お客様及び当社にすりごまの製造販売を行っております。

連結子会社ふくおか製麺㈱が、当社の生産する製品を主要販売品目とし、外販を行っております。

当第3四半期連結累計期間における外販事業の売上高は82百万円（同0.5%減）、営業損失23百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,028百万円となり、前連結会計年度末に比べ182百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が121百万円、売掛金が68百万円増加したこと等によるものであります。また、固定資産は3,067百万円となり、前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に、建物及び構築物が59百万円減少したものの、投資その他の資産のその他が39百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ161百万円の増加となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は986百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が45百万円増加したものの、その他のうち未払費用が20百万円減少したこと等によるものであります。また、固定負債は1,128百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が113百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ129百万円の増加となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,981百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が40百万円増加したものの、自己株式を6百万円取得したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は48.4%（前連結会計年度末は49.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、現時点において平成25年5月14日に公表致しました連結業績予想の変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	517,745	639,597
売掛金	125,667	194,219
有価証券	10,010	10
商品及び製品	101,261	114,106
仕掛品	3,152	4,088
原材料及び貯蔵品	21,465	27,592
その他	66,943	50,350
貸倒引当金	△492	△1,828
流動資産合計	845,754	1,028,135
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,132,206	1,073,145
機械装置及び運搬具（純額）	77,017	63,148
土地	1,562,857	1,602,647
その他（純額）	18,677	14,987
有形固定資産合計	2,790,759	2,753,929
無形固定資産		
のれん	19,925	4,981
その他	8,384	10,339
無形固定資産合計	28,310	15,320
投資その他の資産		
投資有価証券	25,040	23,704
繰延税金資産	68,673	66,325
敷金及び保証金	118,472	113,923
その他	73,635	112,755
貸倒引当金	△17,177	△18,903
投資その他の資産合計	268,644	297,805
固定資産合計	3,087,714	3,067,055
資産合計	3,933,469	4,095,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	82,380	128,056
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	426,765	425,742
未払法人税等	19,310	18,110
賞与引当金	21,932	13,136
ポイント引当金	1,823	1,741
資産除去債務	1,250	—
その他	213,317	199,214
流動負債合計	966,780	986,002
固定負債		
長期借入金	734,092	847,335
退職給付引当金	66,747	69,288
役員退職慰労引当金	47,492	48,164
資産除去債務	47,376	45,678
その他	122,029	117,646
固定負債合計	1,017,737	1,128,113
負債合計	1,984,518	2,114,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,002,050	1,002,050
資本剰余金	799,750	799,750
利益剰余金	181,038	221,257
自己株式	△47,296	△53,489
株主資本合計	1,935,541	1,969,568
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,409	11,507
その他の包括利益累計額合計	13,409	11,507
純資産合計	1,948,950	1,981,076
負債純資産合計	3,933,469	4,095,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	1,683,857	1,546,078
売上原価	720,856	715,393
売上総利益	963,000	830,685
販売費及び一般管理費	953,468	756,739
営業利益	9,532	73,946
営業外収益		
受取利息	626	1,949
受取配当金	88	97
協賛金収入	1,538	1,557
違約金収入	2,871	2,371
その他	3,152	2,536
営業外収益合計	8,276	8,512
営業外費用		
支払利息	13,256	12,189
その他	1,649	844
営業外費用合計	14,905	13,034
経常利益	2,902	69,424
特別利益		
固定資産売却益	54	1,477
特別利益合計	54	1,477
特別損失		
固定資産除却損	1,156	4,080
減損損失	1,273	—
特別損失合計	2,430	4,080
税金等調整前四半期純利益	527	66,821
法人税、住民税及び事業税	18,778	19,732
法人税等調整額	30,058	6,870
法人税等合計	48,837	26,602
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△48,310	40,219
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△48,310	40,219

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△48,310	40,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,649	△1,901
その他の包括利益合計	3,649	△1,901
四半期包括利益	△44,660	38,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,660	38,318
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	1,554,636	41,302	83,297	1,679,236	4,620	1,683,857	—	1,683,857
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,894	117	2,942	14,954	—	14,954	△14,954	—
計	1,566,531	41,419	86,239	1,694,190	4,620	1,698,811	△14,954	1,683,857
セグメント利益 又は損失 (△)	53,786	18,541	△27,683	44,644	633	45,277	△35,745	9,532

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△35,745千円には、セグメント間取引消去873千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36,619千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「外食事業」において、継続的に営業損失を計上している店舗資産につきまして、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、1,273千円を減損損失として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	外食事業	不動産 賃貸事業	外販事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	1,410,268	41,228	82,865	1,534,362	11,716	1,546,078	—	1,546,078
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,085	117	2,662	15,865	—	15,865	△15,865	—
計	1,423,353	41,345	85,528	1,550,227	11,716	1,561,943	△15,865	1,546,078
セグメント利益 又は損失（△）	109,841	20,050	△23,164	106,727	1,961	108,689	△34,743	73,946

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△34,743千円には、セグメント間取引消去679千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△35,422千円等が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。